

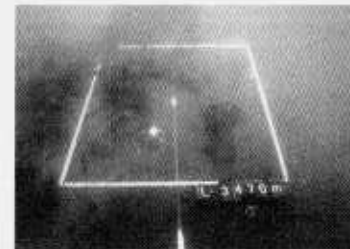
海底観察結果断面図（秋季及び冬季：測線L-3 続き）



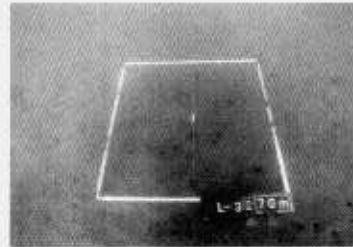
アラムシロガイ (280m地点)



340m地点、
生息孔とマハゼ



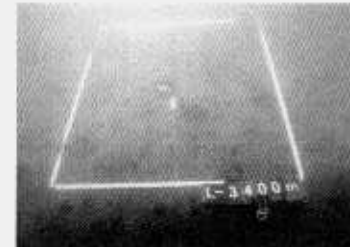
470m地点、細砂からなる海底に
アオサ属(緑藻類)が繁茂する。



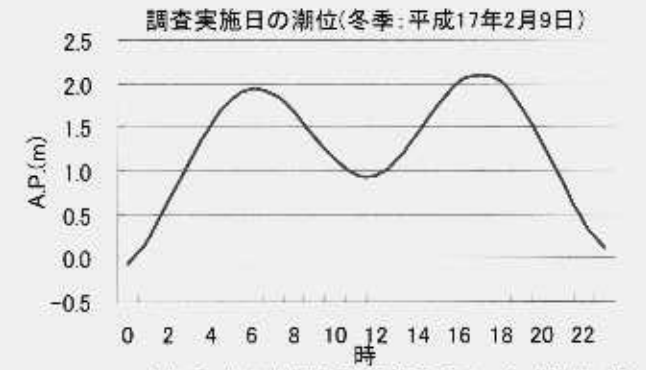
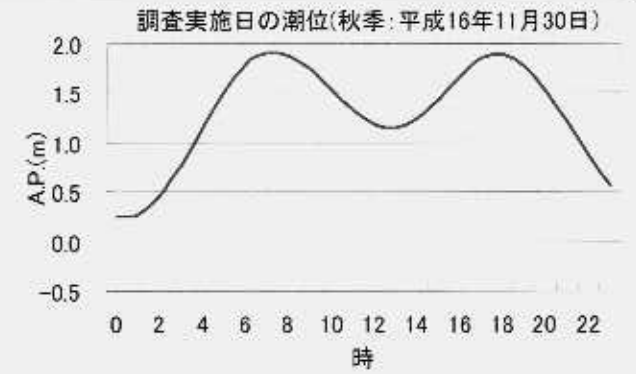
270m地点、底質はシルト。



350m地点、底質は細砂。



400m地点、底質は細砂。

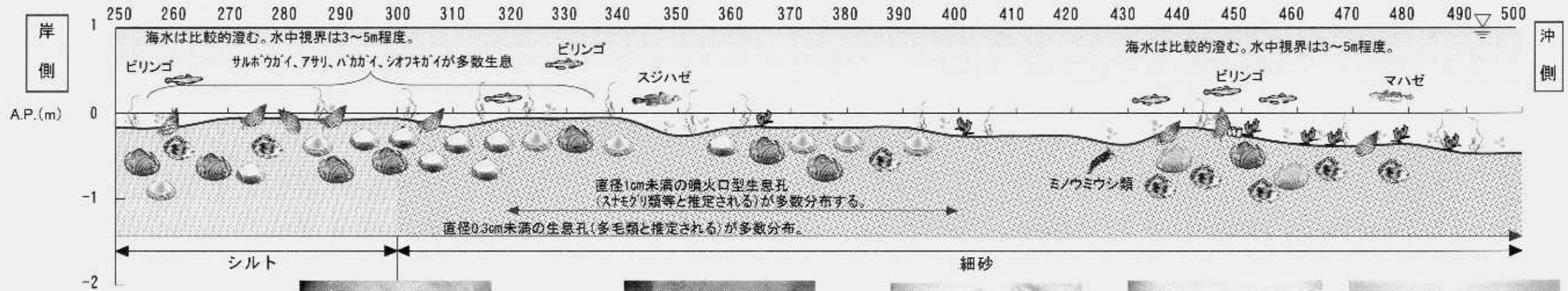


(気象庁東京港潮位観測所データより作成)

調査年月日: 秋季 平成16年11月30日9:10~12:30

冬季 平成17年2月9日9:40~11:50

離岸距離(m)



直径1cm未満噴火口型の
生息孔(350m地点)
(スナモグリ類、又は
多毛類と推定される)



直径1cm未満噴火口型の
生息孔(450m地点)
(スナモグリ類、又は
多毛類と推定される)



マハゼ(480m地点)



直径1cm未満噴火口型の
生息孔(500m地点)
(スナモグリ類、又は
多毛類と推定される)



500m地点、底質は細砂。
アオサ属、ハネモ(緑藻類)
が点生する。

※図中の水位線は、調査時間中の平均潮位を示している。

